

月の形

月の形

夜空の月は、細い三日月の日もあれば、まん丸の満月の日もあります。月の形は、どうしてかわって見えるのでしょうか。

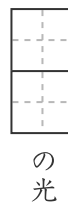
月は、自分で光を出しているわけではありません。太陽の光を受けて、光っているのです。月の表面は、岩やすなでできていて、太陽の光をはね返しているのです。

月は、地球のまわりを回っています。そのため、地球から見ると、太陽の光が当たっている部分の見え方が、少しずつかわっていきます。

月が太陽と同じ方向にあるときは、光の当たっていない部分しか見えないので、月は見えません。これを新月といいます。その後、月は三日月、半月とだんだん太くなり、やがて満月になります。そして、また細くなって、新月にもどります。

新月から次の新月までは、およそ二十九日半です。昔の人は、この月の形のかわり方をもとに、こよみを作っていました。このような月の形のかわり方を、月の満ち欠けといいます。

1 月は、何の光を受けて光っていますか。



の光

2 月が見えない日を、何といいますか。

ア 満月

イ 半月

ウ 新月

3 新月から次の新月までは、およそ何日ですか。

およそ



日半

4 月の形がかわって見えるのは、どうしてですか。

ア 月が、地球のまわりを回っているから。

イ 月の大きさが、かわるから。

ウ 雲が、月をかくすから。